



園だより 11月号

11月に入り、季節外の真夏日や、かと思えば一気に気温が下がり寒くなったりと、こどもも大人もすっかり身体が慣れていない今日この頃。。

それでも季節の移り変わりはしっかりと「冬」に向かっている様で、山々の紅葉が赤や黄色、黄緑やオレンジに変化していく様子は、是非こどもたちと楽しんで欲しいなあと思います。

今期はコロナ以外にはヘルパンギーナやインフルエンザなど、今まで眠っていた感染症が暴徒化し、保護者の皆さまにも大変ご迷惑をおかけ致しました。

寒くなるにつれお外遊びも控えがちになりますが、短時間でも思い切り身体を動かし、寒さや風邪に負けない身体作りを心がけて行きたいと思います。

今月もどうぞよろしくお願い致します☆



11月の行事予定

- ★10日(金)11月生まれ Specialday♥
- ★11日～13日まで、園長熊本出張のため不在
*何かあれば総括道又・副主幹小國が対応します
- ★13日(月)ことばの指導(9:30～)
*チームはくちょう・チームオリオン対象
- ★17日(金)臨床心理士土屋先生相談日
*予約制となっております。ご希望の方は担任まで
- ★22日(水)勤労感謝訪問・交通安全指導
*対象チームには後日登園時間等の連絡します。
- ★23日(祝)勤労感謝の日(休園)
- ★27日(月)避難訓練(消防署立会訓練)
- ★29日(水)鶉住居小学校就学児検査
- ★30日(木)大槌学園就学児検査

★「ラクトアイス」にご注意!!☠★

最近乳児期から「アイスを食べさせているか?」という内容の研修をよく聞くようになりました。アイスは大きく分けて「アイスクリーム」「アイスミルク」「ラクトアイス」の3つに分かれています。

まずは1歳未満児への「アイス」はNOはご存知かと思いますが、中でも「ラクトアイス」は言ってみれば「**アイス味の固めた油**」で出来ているので、乳児期から与えてしまうと「**自己免疫力の低下**」「**心臓病や糖尿病などのリスク**」など、「**甘い**」と舌が感じるだけでミルクやお砂糖は全く使われていないということです。お子さんに与える場合には、表示成分に「**アイスクリーム**」「**アイスミルク**」(少しお高いですが..)と表記されているものを選び、乳児期にはなるべく与えない様に心がけましょう。

「蓄積」されるのがとても恐ろしいことだと思いますので、大切なお子さんの身体を思い「ラクトアイス」の回避をお願い致します★

一度、保護者の皆さまも「ラクトアイス」について調べてみてくださいね。

また来年☆「たにぞう in おおつち!!」



10月28日(土)に開催された「たにぞう&ファンタジスタ Live」では沢山の親子さんにお集まりいただき大盛会で終了できましたことに感謝申し上げます。今回参加出来なかった親子さんのために、来年同じ時期にまた Live 開催することが決定しています☆

来年はファミリーで参加できる企画をご用意致しますので、城山体育館を大槌のみんなで埋めつくし、さらに楽しめる様に今から楽しみにしててください☆もちろん!小学生も中学生もみんなみんな集まろう♥

「やまだなかよしだんすくらぶ」の皆さんの圧巻のダンスに、会場からは入会希望のこどもたち多数! 来年もまた楽しみにしています!(^^)!

★私が見た光景★

「良いか」「悪いか」ではなく。。とても考えさせられた光景。

先日、とある病院の待合室での出来事。

私、真ん中で両サイド 2歳ぐらいのお子さんを連れた2組の親子さん。

一組はお母さんと男の子1人。もう一組はお父さんと男の子2人。

ここからが考えさせられることです。。

お子さん2人を連れたお父さんは、2歳ぐらいの弟と4歳ぐらいのお兄ちゃんと、向き合っってよーく目を見て、「どんな色が好き?へーそうだったんだあ」と、周りに気遣いながら静かにお話を続けていました。

その病院にはお父さんと来院したのが初めてだったのか、お兄ちゃんの方に、「次はどこへ行けばいい?」と尋ねたり、弟くんにも聞いたりしてとにかく笑顔の絶えないご家族でした。

一方、お母さんと男の子の方は。。

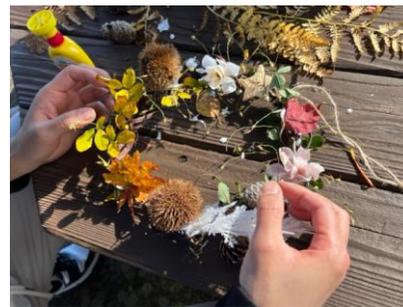
ずーずーずーと、男の子は携帯を眺め、何の会話もしません。

一見おとなしくて良いと感じるかもしれませんが、おおよそ30分間のうちの会話が、「お腹すいた?」「……………」だけでした。。

30,000語の格差が出ると言われてこの乳幼児期に、「発達差」が出るのはこういう所から始まるんだなあと思って見ていました。

今、「こどもの声」がうるさいと言われるこの時代に、周りの大人も寛大に受け止める術を持ち合わせることで、病院の待合では様々な病気を抱えている方(ペースメーカーなど)がいるということを「学ぶ」機会は、家庭の中では学習できません。「静かに待つ」「病院では携帯を使えない」「ここは走ったり思い切り騒いだりしても良い」それぞれの「学び」は社会の中でしか体験できないことも沢山あります。

2組の親子さんの関わりを見ながら「保育の中で何が出来るか」と、社会の中での「大人の役割」とは。。を、考えさせられた光景でした。



サツマイモのツルからリース作りへこんなに素敵なりーの完成☆

11月2日(木)

チームオリオン園生活最後の親子思い出遠足に行ってきました☆

秋晴れのとても暖かい遠足日和の1日で、こどもたちもお家の皆さんもいっぱい歩き、いっぱい食べ、よく笑い、沢山こどもたちと遊んでくれました☆

MOMIJIの幸男くん・ひでかちゃん・さとみちゃんのお話も、真剣に聴いていて偉いなあと感心する一面もあり、ひとつひとつに成長を感じる遠足でした。ありがとうございました♥



幸男くん・ひでかちゃん・さとみちゃんありがとう



★「ジブンデできる力」★

2歳頃からみられる「ジブンデ」は、とにかく手を付けると大騒ぎ🌀困ったなあという顔を見せるともっと大騒ぎ🌀そんな経験あります(した)よね? ところが。。大きくなるにつれ、自分で出来るのにやらないとか、ついついやってあげるとか。。「自分で出来ること」の範囲がその子によって大きく差が開いてきます。忙しい時や余裕のない時は特に「待つ」ことには限界がありますよね(^-);

それでも「自分で出来ること」や「やらせてみること(信じること)」は、その子自身の成長を大きく動かすことにも繋がります☆

「やってみたい!!」という気持ちを尊重すること、失敗しても「切り返す力」は大人の力量かもしれません。(とにかく出来ても失敗しても褒める)

特にチームオリオンは就学を控え、「自分で出来ること」の範囲を拡げてみる事が大切かと思えます。

まずは、早寝早起きの習慣(自分で目覚ましをかけて起きる)。朝ごはんのお手伝い(お箸を並べたり、食器の片付けなど)。食べたあとはしっかりと大便を済ませる。自分のカバンの中身を準備する。自分のカバンは自分で背負う(持つ)。

ひとつひとつの成果に「自分ひとりで出来た」時には最高の誉め言葉♥

「〇〇(お子さんの名前)は私の宝物だよ☆」と、しっかり伝えてあげること「ジブンデできる力」に繋がりますよ★

0歳児でも年長でも「ジブンデできる力」は沢山芽を出そうと準備しています♥是非お見逃しなく～～～★★★